ECOLBA

日本語版

取扱説明書
2011年7月度版

索引

1・はじめに

この度は、ECOLBAをお買い上げいただき誠に有り難うございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
尚、本コントローラの設置に際しては専門の資格、技術を持った技術者にご依頼下さい。
ユーザー自身で設置や改造を行った場合の損害に対する責任は一切負いませんのでご了承下さい。

2・ECOLBA の特徴

ECOLBAは次のような特徴を持っています。

1. 現在、今日、今月、前日、前々日、前月、今年の電気、ガス、水道の使用量や料金等に換算した値をにパソコン上へ表示することができ、インターネット上からも確認することが出来ます。また各データはExcel等で利用可能なCSVファイルとしての出力が可能です。

2. 本体1台につき最大18回路＜主幹2+分岐16＞（Pro版、Basic版の場合には、分岐8）のブレーカー計測、及び3パルス（ガス、水道など）の計測が可能です。

3. 消費量にユーザーが目標値を設定することができ、目標をオーバーするとメールで通知します。省エネを意識した行動を促します。

4. 「Pro版」では、インターネットを使いPCや携帯電話から家電の遠隔操作や遠隔監視の機能を追加できます。

5. シナリオ機能を使い、各種防犯センサー、報知器などと連動したセキュリティーシステムとしてご利用いただけます。

6. 今後は無線端末を利用したワイヤレスコントロール及びモニタリングへの対応を予定しておりますのでご期待下さい。

2・安全上のご注意

ECOLBAをお使いになる環境で、人体への危害や財産の損害を未然に防ぎ、
安全に正しくお使いいただくための重要な事項を記載しておりますので、必ずお守り下さい。

● 次の記号は、お守りいただく内容を説明しています。

表示	表示の意味
⚠警告	「誤った取扱をすると人が死亡する、または重傷を負う可能性のあること」を表示します。
⚠注意	「誤った取扱をすると人的障害を負う可能性、及び物的損害のみが発生する可能性のあること」を表示します。

● 次の表示区分は、表示内容を守らず誤った取扱を行った場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	表示の意味
	この表示は行ってはいけない禁止内容です。
	この表示は、必ず実行していただく強制内容です。

表示器の電源は必ずAC100Vをご使用下さい。
感電・火災・故障の原因となります。

電源プラグについたほこりはふき取って下さい。
火災の原因となります。

雷が鳴り始めたら、電力センサやブレーカーに触れないで下さい。
感電・火災・故障の原因となります。

分解・改造をしないで下さい。
感電・火災・故障の原因となります。

電源ケーブルに傷がついたら使用を取りやめて下さい。
火災・故障の原因となります。

濡らさないで下さい。また濡れた手で触らないで下さい。
感電・火災・故障の原因となります。

風呂場など湿気の多い場所には、絶対に設置しないで下さい。
感電・火災・故障の原因となります。

⚠注意

滑りやすいものや不安定な物に上がって作業しないで下さい。
怪我などの原因となります。

乳幼児の手の届かないところに取り付けして下さい。
けがや故障の原因となります。

電源プラグや各コネクターについたほこりをふき取る際は、必ずコンセントから抜いて行って下さい。
感電の原因となります。

電源ケーブルを外す場合は、電源アダプター本体部分を持って抜いて下さい。
ケーブルを引張って抜くと、故障・感電・火災の原因となります。

湿気やほこりの多いところ、高温となるところに取り付けないで下さい。
故障の原因となります。

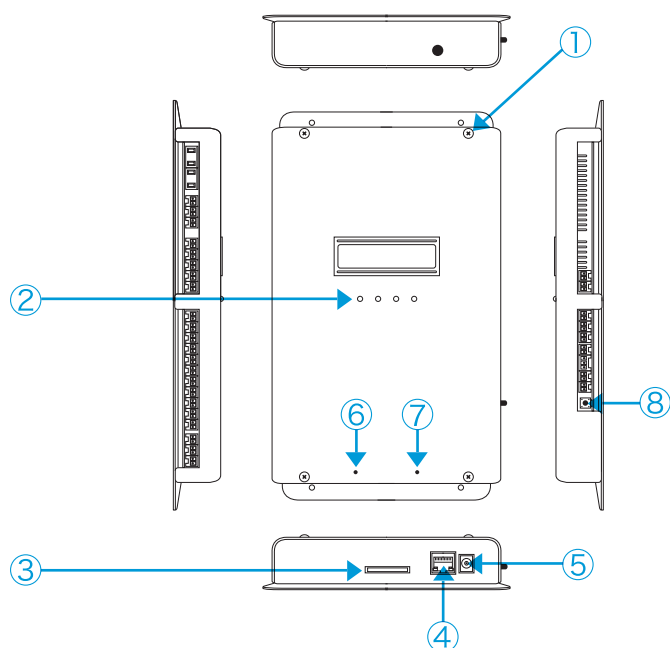
ケーブル類の上に物を乗せたりしないで下さい。
感電・火災・故障の原因となります。

4・同梱品の確認

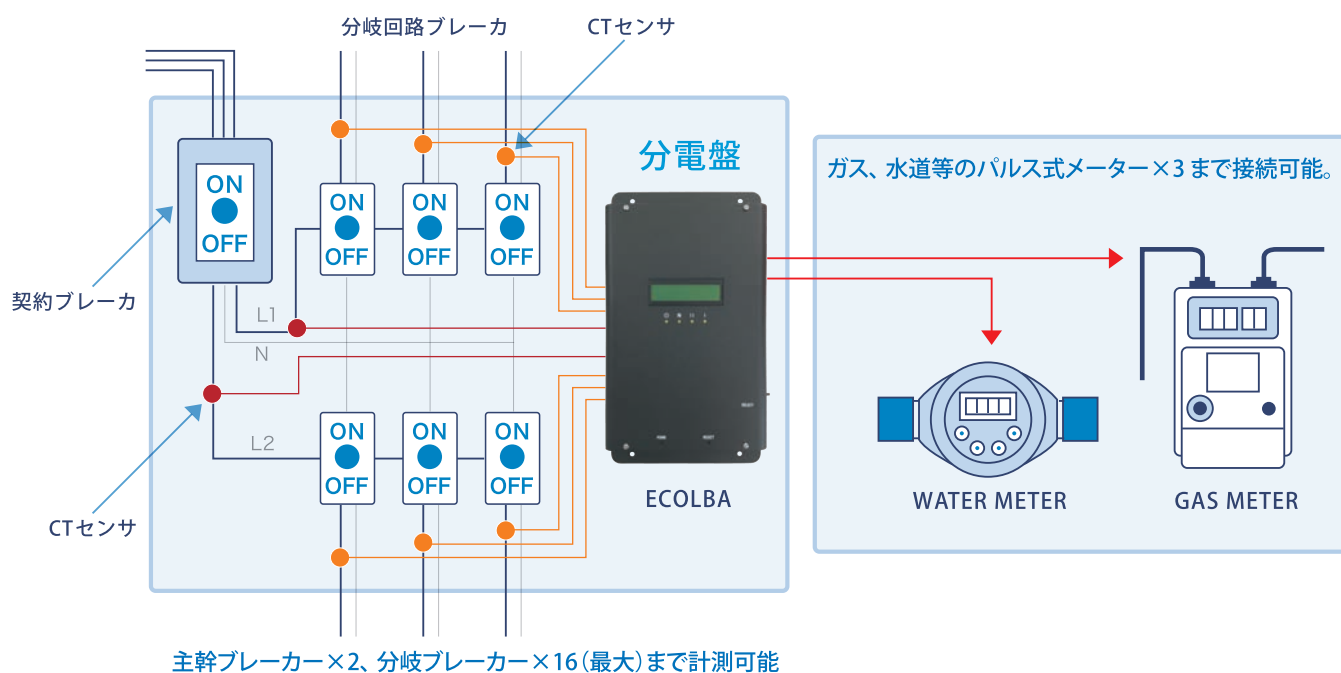
1. 計測器本体 ×1
2. 5V電源アダプタ ×1、 12V電源アダプタ ×1(Pro版のみ)
3. 2GB SDカード（本体へ挿入済み）×1
4. CD-ROM（取扱説明書、ファームウェアアップデートツール、SD カード用システムファイルを収録）×1

■別売品
1. CTセンサー（主幹回路用CTセンサ、分岐回路CTセンサ）
2. 専用家電制御用JEMAアダプター（Pro版に対応）
3. 各種汎用防犯センサー、報知器（Pro版に対応）

など、詳しくは販売元へお問いあわせ下さい。

5・各部の名称と働き

① 上面パネルねじ
② システムLED
・電源
・ネットワーク
・モード ×2
③ SDカード挿入口
④ LANケーブル挿入口
⑤ 電源ケーブル挿入口
⑥ パスワードリセットボタン
⑦ 電源リセットボタン
⑧ モード選択ボタン

6・本体設置イメージ

主幹ブレーカー×2、分岐ブレーカー×16（最大）まで計測可能

本体とCTセンサ、LAN、パルスメータは上記のように接続されます。
分電盤付近に設置スペースが無い場合や、LAN環境が用意されていない場合には、CTセンサの配線延長*やLAN配線を新規に用意するなどし、対応して下さい。

またパルスメーターとの接続には、事前に各管轄（ガス会社、水道局等）との調整をお願いいたします。
許可無く接続した場合の責任は負いかねますのでご了承下さい。

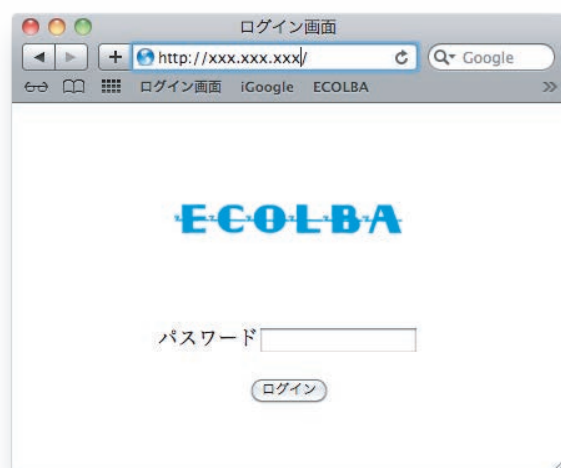
*CTセンサーの配線を延長する場合には、最長で20m。ケーブルはVVC、またはVSVC等のケーブルを使用して下さい。センサーの数に応じた多芯ケーブルの利用も可能です。

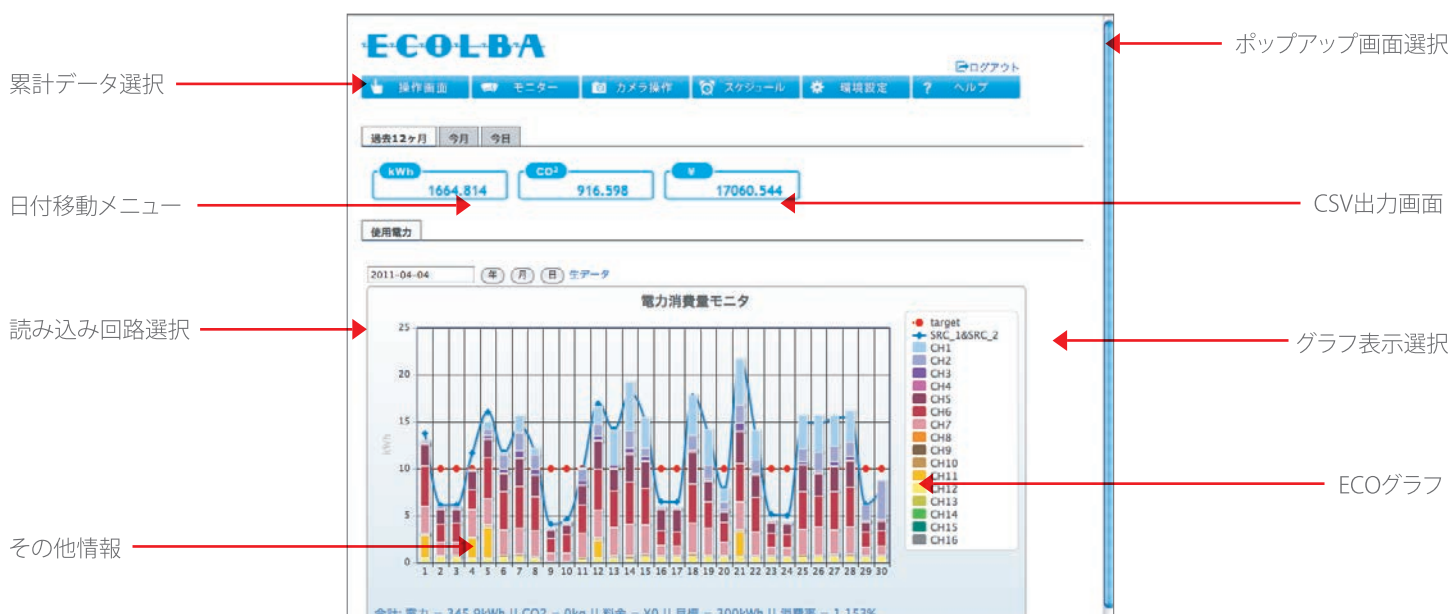
7・本体 web ページへのアクセス

本体のユーザー操作やユーザー設定はすべてwebページ上で行います。

7.1. ユーザーログイン

インターネットブラウザを立ち上げ、例えば「http://ecolba/」のようにURLを入力すると本体TOPページが表示されます。
但しご利用のパソコンやネットワークの環境によっては、表示されない場合もございます。
その場合には、本体LCD画面にてIPアドレスを確認して下さい。

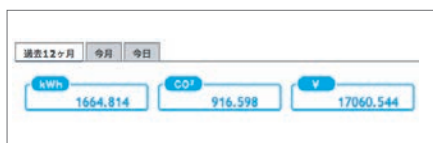
●以下の方法で確認が可能です。
1. 本体 SELECTボタンで画面表示が切り替わります。
2. Lxxx.xxx.xxx のようなローカルIPアドレス画面が表示が現れますので、表示された数字を控えて下さい。
3. ブラウザのURLに先ほど表示されたIP アドレス xxx.xxx.xxx を入力して下さい。

左記画面が表示されましたら、パスワードを入力しログインして下さい。
ユーザー初期パスワードは"1234"です。
パスワードは定期的に変更されることをお勧めいたします。

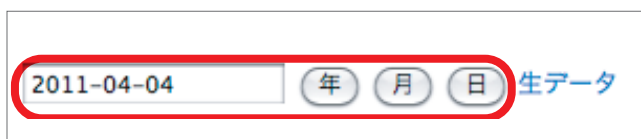
7.2. メイン画面

7.2.1. ポップアップ画面選択

ポップアップ画面選択ボタンは、エコの機能以外の操作を行いたい場合に選択するウィンドウです。

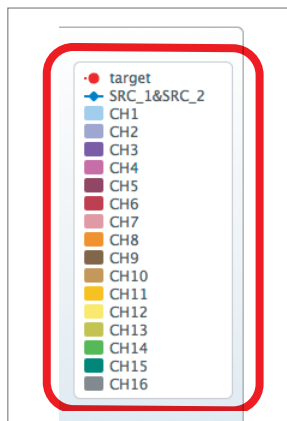
左から
- **操作画面** → ECOLBAに接続されている機器を操作する場合に開きます。
- **モニタ画面** → ECOLBAにて開閉センサーの状態などを確認する場合に開きます。
  分電盤のリアルタイムの消費電流(kW)を参照したい場合にもこちらを開きます。
- **カメラ画面** → ECOLBAからネットワークカメラの画像を確認する場合に開きます。
- **スケジュール画面** → 各種動作のスケジュール予約を行う場合に開きます。
- **ユーザー設定画面** → ユーザ情報（メールアカウント等）の設定や変更する場合に開きます。
- **ヘルプ画面** → ヘルプ情報を確認したい場合に開きます。
- **ログアウト** → ECOLBAからログアウトします。

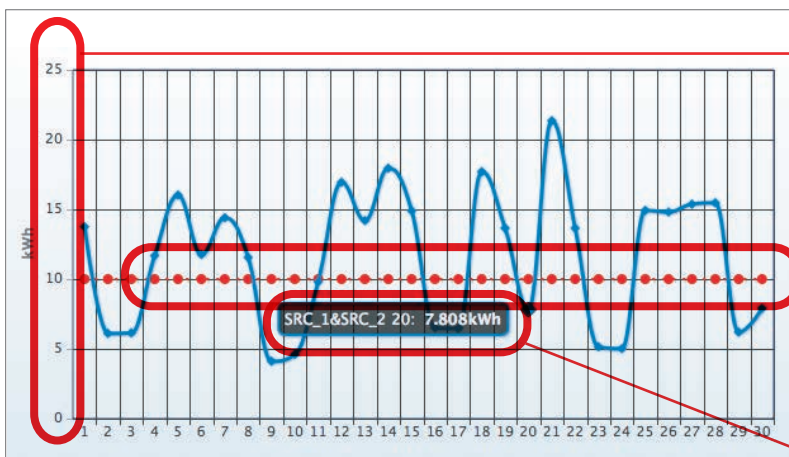
※上記機能は、各種機器（エアコン、床暖房等）や各種センサ（開閉センサ、報知器等）がECOLBAと接続されている必要があります。詳しくは設置業者にご確認下さい。

7.2.2. 累計データ選択

電力消費量の累計値、CO2排出量換算値、料金換算値を表示切替します。
- **過去１２ヶ月** → 同年1月1日からの累計
- **今月** → 同月1日からの累計
- **今日** → 同日0時からの累計

7.2.3. 日付移動メニュー

グラフに表示したい、年、月、日をプルダウンメニューより選択します。

- 水道/ガスのデータがある場合には、タブにてグラフの切り替えをします。
- CSVファイルとしてデータが必要な場合には、CSV出力をクリックしてください。
  最後に読み込みを行った回路のデータが出力されます。

7.2.4. グラフ表示選択

読み込んだ各グラフの表示、非表示を選択します。

7.2.5. ECOグラフ

グラフの数値によって、Y軸のレンジが自動的に変化します。（画像左側の目盛）

ターゲット（赤ライン）の設定は、ポップアップウィンドウのユーザ設定内で行います。設定値の日割り値がラインとして表示されます。目標値をオーバーした日は、翌日朝にメールにてユーザへ通知されます。
（メールアカウントを設定してある場合）

各グラフの上へマウスを移動すると、数値が表示されます。

7.2.6. その他情報

合計: 電力 = 478.58kWh || CO2 = 162.24kg || 料金目安 = 11007.23円 || 目標 = 700kWh || 消費率 = 68.4%

その他の情報を表示します。

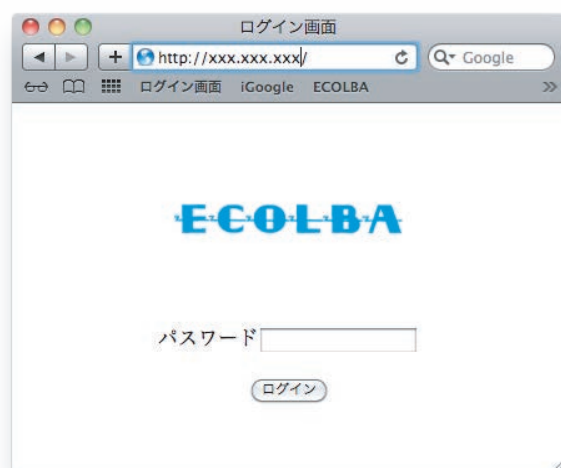
- **合計** → 累積合計値
- **CO2** → CO2排出量換算値
- **料金目安** → 料金換算値
- **目標** → ユーザー設定目標値
- **消費率**→ ユーザ目標値に対する使用率

8・設置時の動作設定＜管理者用＞

設置時の本体設定はすべてwebページ上で行います。

8.1. 管理者ログイン

インターネットブラウザを立ち上げ､次 http://ecolba/ のようにURLを入力すると本体TOPページが表示されます。
但しご利用のパソコンやネットワークの環境によっては､表示されない場合がございます。
その場合には､本体LCD画面にてIPアドレスを確認して下さい。

●以下の方法で確認が可能です。
1. 本体 SELECTボタンで画面表示が切り替わります。
2. Lxxx.xxx.xxx のようなローカルIPアドレス画面が表示が現れますので､表示された数字を控えて下さい。
3. ブラウザのURL に先ほど表示されたIP アドレス xxx.xxx.xxx を入力して下さい。

左記画面が表示されましたら､パスワードを入力しログインして下さい。
初期管理者パスワードは､”xxx1234”です。
上記パスワードは設定ページ内で変更が可能です。
パスワードは定期的に変更されることをお勧めいたします。

8.2. ネットワーク設定

8.2.1. 現在のネットワーク状態

現在のIP設定
LAN IP アドレス： 192.168.1.8
WAN IP Address:
ネットマスク： 255.255.255.0
ゲートウェイ： 192.168.1.1
現在の時間： 2011/07/26 16:53:19
起動時間： 2011/07/26 11:09:18

- **LAN IP アドレス** → コントローラのローカルIPアドレス情報を表示します。
- **WAN IP アドレス** → コントローラのWAN IPアドレス情報を表示します。
  （上記IPアドレス情報は本体のLCDディスプレー上でも確認することができます。但しBasicモデルのみ）
- **ネットマスク** → コントローラのネットマスク情報を表示します。
- **ゲートウェイ** → コントローラのゲートウェイのIP情報を表示します。
- **現在の時刻** → 起動時にインターネット上から取得した現在の時刻を表示します。
  （起動する際にインターネット接続できない場合には、時刻同期が正しく行われない場合があります。
  日付や時刻が合っていない場合いは、ネットワーク状態をご確認下さい。）
- **起動時間** → コントローラの電源が投入された日時を表示します。

8.2.2. LANの設定

LAN 設定
DHCPの使用： ☑
UPnPの使用： ☑
IP アドレス：
HTTP ポート #：
リモートアクセスポート #：
ネットマスク：
ゲートウェイ：
DNS1:
DNS2:

- **DHCPの使用** → チェックボックスが有効の場合、コントローラは自動的にIPアドレスを取得します。
- **UPnPの使用** → チェックボックスが有効の場合、コントローラは自動的にWAN通信ポートの開放を行います。（UPnP機能対応のルータの場合）
- **IPアドレス** → 固定IPを設定する場合に使用します。DHCPが有効の場合には、自動的に割り当てられます。
  変更する際には、DHCPのチェックボックスを無効にして下さい。
- **HTTPポート#** → コントローラのwebサーバポートを設定します。特に指定が無い場合には、デフォルトの80番をご使用下さい。
- **リモートアクセスポート#** → コントローラのWAN側通信ポートを指定します。UPnPではここで指定されたポート開放を行います。
  また固定IP の場合には、ここで指定したポートをルータ側でポート開放して下さい。
- **ネットマスク** → ネットマスクを設定する場合に使用します。DHCPが有効の場合には、自動的に割り当てられます。
  変更する際には、DHCPのチェックボックスを無効にして下さい。
- **ゲートウェイ** → ゲートウェイを設定する場合に使用します。DHCPが有効の場合には、自動的に割り当てられます。変更する際には、DHCPのチェックボックスを無効にして下さい。
- **DNA1, DNS2** → DNSサーバを設定する場合に使用します。DHCPが有効の場合には、自動的に割り当てられます。変更する際には、DHCPのチェックボックスを無効にして下さい。

8.2.3. リモートアクセスオプションの設定

リモートアクセスオプション
SelfDNSのIP通知機能： 使用しない 使用する

SelfDNS機能の使用を設定します。（特に指定が無い場合には、デフォルトの"使用する"にチェックをして下さい。）

★SelfDNSとは
ECOLBAの便利な機能のひとつ。
特別な有料サービス(ダイナミックDNS)を使用せずに、本体のWANIPアドレスをユーザへメールを使用して通知するシステムです。

8.2.4. NTPサーバの設定

NTP タイムサーバの設定
NTP IP1:
NTP IP2:
GMT Diff:
保存 リセット

- **NTP IP1, NTP IP2** → インターネット上に存在する時刻同期用のサーバIPアドレスを設定します。コントローラは、ここへ設定されたサーバから時刻情報を取得します。特に問題が無ければディフォルトのIPアドレスで構いません。
- **GMT Diff** →タイムゾーンの設定です。

8.2.5. コントローラ名とパスワード設定

コントローラ名とパスワードの設定
コントローラ名： ecolba
パスワード： ••••
パスワードの確認： ••••
パスワード接頭辞：

- **コントローラ名** → 端末の名称を指定します。ここで指定した名称が、ログイン時の接続先URLとなります。
  [例] http://ecolba（NETBIOS機能に対応している場合）
- **パスワード**→ ログインパスワードを指定します。セキュリティー保護のため、入力した文字は表示されません。（初期値 "1234"）
- **パスワード接頭辞** → 管理者用パスワードの前置句を指定します。ここで指定した語句＋パスワードが、管理者用パスワードとなります。
  初期値 "xxx"→管理者パスワード "1234"

8.2.6. メールの送信設定

SMTP サーバ設定
SMTP メールサーバ：
SMTP ポート＃：
メールアカウント名：
メールパスワード：••••••
メールアドレス：

ご契約のインターネットプロバイダから提供されたE メールのアカウントを設定して下さい。
端末が発行するエコレポートや各種ユーザーアラート情報を送信する為に使用します。

8.2.7. メールの受信設定

POP3サーバ設定
POPメールサーバ：
POPポート＃：
メールアカウント名：
メールパスワード：••••••

ここで設定したメールアカウントへ、外部から特定のメッセージを送信することで
端末を操作する機能に使用します。現在この機能へは未対応です。

8.2.8. PINGバックサーバの設定

PINGバックサーバ設定
URL1:
URL2:
リセット　保存

端末を固定IPモードで動作させる場合に、コントローラはここで指定したサーバーからリモートIP情報を取得しユーザーへ通知します。
特に指定の無い場合には、初期値のままご利用下さい。

- **URL1初期値** → ecofront.biz/ip/
- **URL2初期値** → whatismyip.org

8.2.9. システム関連

システム再起動
Disable Spread Spectrum
再起動
設定保存
保存
設定復帰
復帰
現在の設定がクリアされ、最後に保存した状態へ復帰いたします。

- **システム再起動** → 本体を再起動します。再起動した場合、保存されていない情報は消去されますのでご注意下さい。
- **設定保存** → 設定した各種情報（ネットワーク設定、IO 設定、シナリオ情報等）をSDカードへ保存します。
- **設定復帰** → SD カード内に保存された設定へ復帰します。
- **Disable Spread Spectrum** → 使用しません。

8.3. IOポート設定

8.3.1. ハードウェアバージョンの選択

ハードウェアバージョンの選択： AHEB-NB-002C SET

ECOLBA本体のバージョンを設定します。バージョンの確認方法は、販売元へご確認下さい。

8.3.2. 入力ポート（Pro版）

ECOLBA Pro をご使用の場合で、入力ポートを使用する場合に設定します。

- **名称** → 入力ポートに接続した機器名などを設定します。（例 → 火災報知器、窓センサー等）
- **ON状態** → 入力ポートに接続した機器のON動作時の表示名を設定します。（例 → 火災、開など）
- **OFF状態** → 入力ポートに接続した機器のOFF動作時の表示名を設定します。（例 → 異常なし、閉など）
- **表示** → ユーザー画面への表示/非表示を設定します。

8.3.3. 出力ポート（Pro版）

ECOLBA Proをご使用の場合で、出力ポートを使用する場合に設定します。

- **名称** → 出力ポートに接続した機器名などを設定します。（例 → エアコン、照明など）
- **ON状態** → 出力ポートに接続した機器のON動作時の表示名を設定します。（例 → 操作など）
- **OFF状態** → 出力ポートに接続した機器のOFF動作時の表示名を設定します。（例 → 操作など）
- **HA** → JEMAアダプターを使用して、エアコンや電気錠をワンショットにて操作する場合に設定します。
- **I/Oリンク** → ユーザー操作画面で、出力ポートの状態表示部分へ入力ポート側の状態を表示させたい場合に参照表示させたい入力CHを選択します。
- **表示** → ユーザー画面への表示/非表示を設定します。
- **スケジュールでの使用** → ユーザースケジュール選択画面への表示/非表示を設定します。

8.4.Ecoポートの設定

ECOLBA Proをご使用の場合で、出力ポートを使用する場合に設定します。

8.4.1. 電力モニタの設定

電力モニタの設定

電圧設定	100 VAC	三相交流の設定 (CH8): ☐
CO2排出量係数	0.555 kg	ソーラー機能の設定(CH7-8): ☐
kWhあたりの料金目安	23	eメール月間報告の有効 ☑
eメール月間報告の有効	700 kWh	目標値オーバ通知の有効 ☑

- **電圧設定** → 主幹の電圧を設定します。日本国内で使用する場合には、100Vを選択して下さい。
- **CO2排出量係数** → 電力消費量をCO2排出量に換算するための係数を設定します。日本では2010年時点で0.555Kgと定義されています。
- **kWhあたりの料金目安** → 電力消費量を円に換算するための目安値です。一般的に1Kwh=22円程度となりますが電力会社との料金プランなどにより最適な値は異なります。
- **eメール月間報告の有効** → 電力消費量の月間目標値を設定します。
- **三相交流の設定** → 三相の動力主幹を計測する場合に設定します。（開発中）
- **ソーラー機能の設定(CH7-8)** → ソーラー発電量をグラフ化したい場合に設定します。発電量はCH7-8にて計測します。（売電量の計算には対応していません。）
- **eメール月間報告の有効** → 毎月1日に消費量の月間報告を送信します。
- **目標オーバー通知の有効** → 月間目標値を設定している場合に、日割り換算した使用量をオーバーした場合、翌日メール通知します。

8.4.2. 主幹CHの設定

- **名称** → 計測する回路の名称を設定します。
- **有効** → 計測機能の有効/無効を設定します。
- **表示** → ユーザー画面、グラフ画面への表示/非表示を設定します。
- **CTセンサ設定** → 主幹分電盤のアンペア数を設定します。
- **Turning Ratio** → 接続するCTセンサーを設定します。設定値は販売元へご確認下さい。

8.4.3. 分岐CHの設定

- **名称** → 計測する回路の名称を設定します。
- **有効** → 計測機能の有効/無効を設定します。
- **表示** → ユーザー画面、グラフ画面への表示/非表示を設定します。
- **クランプ型CT** → 弊社指定のクランプ型センサーを使用する場合に設定します。
- **200V** → 200Vの分岐回路を計測する場合に設定します。
- **CTセンサ設定** → 接続するCTセンサーを設定します。設定値は販売元へご確認下さい。
- **主幹の系統** → 分岐CHの属する主幹回路を設定します。

8.4.4. 拡張時の分岐ブレーカ設定（Pro版）

ECOLBA Proをご使用の場合で、Ecoポートを使用する場合に設定します。

8.4.5. 水道量、ガス量モニタの設定

端末のパルスカウント入力端子へ水道、ガス等のメーターからパルス信号を接続する場合に設定します。

- **パルス入力選択** → パルス信号を入力CHを設定します。
- **パルスカウント定数** → 1カウントあたりのm3値を設定します。
- **m3あたりの円** → 消費量を円に換算するための目安値です。
- **月間目標量** → 水道、ガス消費量の月間目標値を設定します。
- **水道料計測の有効** → 計測機能の有効/無効を設定します。
- **eメール月間報告の有効** → 毎月1日に消費量の月間報告を送信します。
- **目標オーバー通知の有効** → 月間目標値を設定している場合に、日割り換算した使用量をオーバーした場合、翌日メール通知します。

8.5. フラグ設定

後述のシナリオ動作プログラム内でフラグが必要な際に設定します。

- **名称** → 入力ポートに接続した機器名などを設定します。
- **ON状態** → フラグのON動作時の表示名を設定します。
- **OFF状態** → フラグのOFF動作時の表示名を設定します。
- **表示** → ユーザー画面への表示/非表示を設定します。
- **スケジュールでの使用** → ユーザースケジュール選択画面への表示/非表示を設定します。

8.6. ディレイタイムの設定

後述のシナリオ動作プログラム内でディレイが必要な際に設定します。

- **名称** → ディレイの名称などを設定します。（半角英数字 3 文字までです。）
- **分分** → ディレイを行いたい分の値設定します。00～59分
- **秒秒** → ディレイを行いたい秒の値設定します。00～59秒
- **表示** → ユーザー画面への表示/非表示を設定します。
- **スケジュールでの使用** → ユーザースケジュール選択画面への表示/非表示を設定します。

8.7. メッセージの設定

ECOLBAからEメールを送信させる際に設定します。
#12～16 のメッセージは、システム上で使用されます。下記を参考に表題、本文を設定して下さい。

●システムメッセージ
#12 Eco コマンド → 開発中
#13 省エネレポート → 毎月の電力、ガス、水道の消費レポートの送信用です。
#14 無線端末レポート → 開発中
#15 カメラ画像 → カメラページで撮影した画像の送信用です。
#16 IPメッセージ → コントローラの接続先IPアドレスの送信用です

- **表題** → メールのタイトルを設定します。
- **本文** → メールの本文を設定します。
- **送り先** → 送信先のメールアドレスを設定します。セミコロン";"で区切ることで最大3アドレスまで設定可能です。
- **テスト** → 保存後にテスト送信ができます。
- **表示** → ユーザー画面への表示/非表示を設定します。
- **スケジュールでの使用**
→ユーザースケジュール選択画面への表示/非表示を設定します。

8.8. カメラの設定

ネットワークカメラの画像を参照したり、メールへ画像添付する場合に設定します。

- **Clear Pictures** → SDカードに保存された画像を削除します。ひとつのカメラは最大9枚までの画像を保存しそれ以上は古いものから削除されます。
- **Take Pic** → 選択されたカメラの静止画像を撮影します。
- **画像をメール送信** → 最後に撮影した静止画像をメール添付します。

8.8.1. カメラリスト

最大4台までのネットワークカメラを登録できます。

- **名称** → カメラの名称を設定します。
- **IPアドレス** → カメラのIPアドレスを設定します。
- **ログインID** → カメラにアカウント設定がある場合には、ログインIDを設定します。
- **パスワード** → カメラにアカウント設定がある場合には、ログインパスワードを設定します。
- **ポート番号** → カメラのポート番号を設定します。
- **ディレクトリ*** → カメラ内の画像が保存されるディレクトリを指定します。
- **画像ファイル名*** → カメラ内の画像が保存される際のファイル名を指定します。

*ネットワークカメラのメーカーにより様々な設定が考えられます。またネットワークカメラによっては画像を参照できないモデルもございます。詳しくは販売元へご確認下さい。

8.9. 無線センサー（開発中）

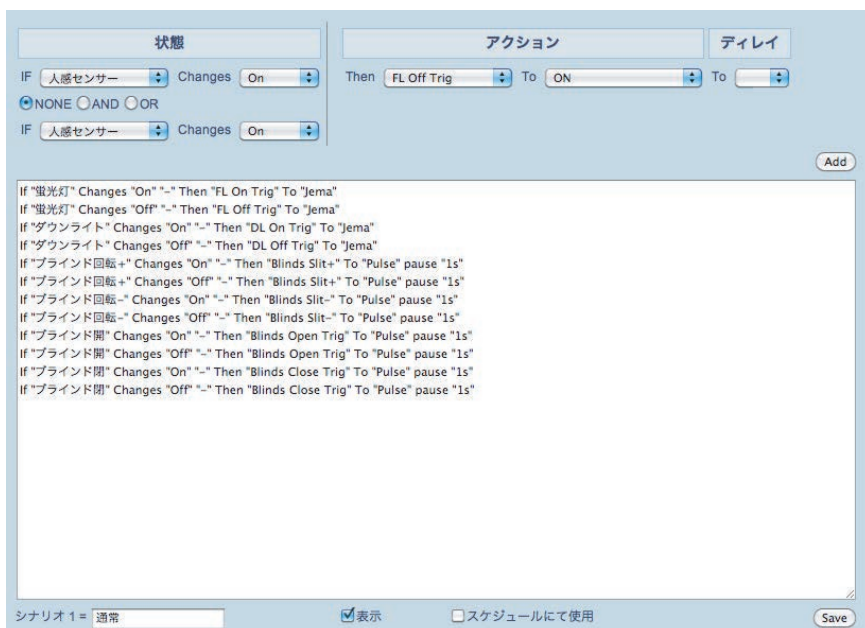
開発中です。

8.10. シナリオ

ECOLBAにはシナリオという特徴的な機能があり、この機能を使うことで様々な動作を自動プログラムすることが可能です。またProバージョンでは、搭載されたI/O端子に接続された機器を積極的に利用することが可能です。
ここでは、シナリオ設定方法の基本的な部分をご説明します。

プログラムには、様々な知識や経験が必要となりますので、詳しくは販売元へお問いあわせ下さい。

8.10.1. シナリオ作成

シナリオプログラムは下記の要領でおこないます。
動作条件を「状態」メニューから選択し、動作目的を「アクション」から選択します。
必要であれば「ディレイ」にて動作のタイミングを調整します。
「Add」をクリックすると選択した動作がシナリオ構文として生成されます。
この構文は、最大で39行まで追加する事が可能です。また全く異なった39行の構文を5種類（モード）作成し、随時動作モードを切り変えて動作させることが可能です。

- **シナリオ#** → シナリオの名称を設定します。
  （在宅モード、留守モードのどちらかを記入）
- **表示** → ユーザー画面への表示/非表示を設定します。
- **スケジュールにて使用** → ユーザースケジュール選択画面への表示/非表示を設定します。

8.10.2. シナリオ「イベント」

●イベントの種類

イベントの発生源	イベントの種類	イベント例	シナリオ構文
入力ポート１～１０	On	入力がＯｎになる。 （ＯｆｆからＯｎに変更）	If “入力名” Changes “On”
	Off	入力がＯｆｆになる。 (ＯｎからＯｆｆに変更)	If “入力名” Changes “Off”
	Toggled	入力状態が反転する。 （オンからオフ、またはその逆に反転）	If “入力名” Changes “Toggled”
	Hold On	入力のＯｎ保持状態	If " 入力名 " Changes "Hold On"
	Hold Off	入力のＯｆｆ保持状態	If " 入力名 " Changes "Hold off"
出力ポート１～10, LED１、２ ブザー	On	出力がＯｎになる。 （ＯｆｆからＯｎに変更）	If “出力名” Changes “On”
	Off	出力がＯｆｆになる。 (ＯｎからＯｆｆに変更)	If “出力名” Changes “Off”
	Toggled	出力状態を反転する。 （オンからオフ、またはその逆に反転）	If “出力名” Changes “Toggled”
	Hold On	出力のＯｎ保持状態	If " 出力名 " Changes "Hold On"
	Hold Off	出力のＯｆｆ保持状態	If " 出力名 " Changes "Hold off"
フラグ	On	フラグがＯｎになる。 （ＯｆｆからＯｎに変更）	If “フラグ名” Changes “On”
	OFF	フラグがＯｆｆになる。 (ＯｎからＯｆｆに変更)	If “フラグ名” Changes “Off”
	Toggled	フラグ状態が反転する。 （オンからオフ、またはその逆に反転）	If “フラグ名” Changes “Toggled”
	Hold On	フラグのＯｎ保持状態	If " フラグ名 "Changes "Hold On"
	Hold Off	フラグのＯｆｆ保持状態	If " フラグ名 "Changes "Hold Off"
シナリオ	Scenario Started	シナリオが開始する。	If “Scenario” Changes “Scenario Started”
CT Mains, CH##	CT Low	電力量フラグが Low になる。	If “回路名” Changes “CT Low”
	CT High	電力量フラグが High になる。	If “回路名” Changes “CT High”
	CT Over	電力量フラグが Over になる。	If “回路名” Changes “CT Over”

＊イベントの種類において、入力ポートが開（オープン）であることを“On”、閉（クローズ）であることを“Off”と表現していますが、
状況により“On”と“Off”を逆にした方が自然に表現できることがあります。その場合、入力ポートの編集ページにて表示を変更して下さい。
但しシナリオの動作につきましては逆転しませんのでご注意下さい。

「ＡＮＤ・ＯＲ」の定義
アクション起こすイベントが複合イベントになる場合、「ＡＮＤ・ＯＲ」条件を設定できます。
・ＡＮＤ → イベント１とイベント２が同時実行の場合
・ＯＲ → イベント１またはイベント２、どちらかが実行する場合

8.10.3. シナリオ「アクション」

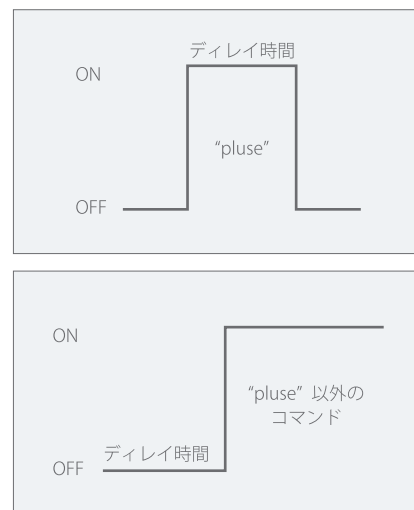
●アクション詳細

アクションの対象	アクションの種類	アクション例	シナリオ構文
出力ポート１～ 10, LED1、LED2 Buzzer	On	出力を ON にする。（オン状態）	Then “出力名” To “On”
	Off	出力を OFF にする。(オフ状態)	Then “出力名” To “Off”
	Toggled	出力を反転する。（ON から OFF、またはその逆に反転）	Then “出力名” To “Toggle”
	Pulse	イベント後、出力をするまでのディレイ時間	Then " 出力名 " to "Pulse" pause " ディレー名 "* * ディレイ時間の設定が必要
	Jema	250ms のパルスを出力する。	Then “出力名” To “Jema”
フラグ	On	フラグを ON にする。（オン状態）	Then “フラグ名” To “On”
	Off	フラグを OFF にする。(オフ状態)	Then “フラグ名” To “Off”
	Toggled	フラグを反転する。（ON から OFF、またはその逆に反転）	Then “フラグ名” To “Toggle”
	Pulse	設定された時間内のみ、OFF 状態のフラグが ON になり、時間終了後 OFF に戻る。ON 時間は“ディレイ時間”が適用される。	Then " フラグ名 " to "Pulse" pause " ディレー名 "* * ディレイ時間の設定が必要
シナリオ１～５	On	シナリオを変更する。	Then “シナリオ名” To “On”
カメラ 1～４	Take Picture	写真を撮影し、コントローラに保存する。	Then " カメラ名 " to "Take Picture"
	Canera1˜4	写真を撮影し、アクションで選択したｅメール番号に画像添付する。	Then"Email#" to "Camera#"
	Hold On	フラグのＯｎ保持状態	If " フラグ名 "Changes "Hold On"
	Hold Off	フラグのＯｆｆ保持状態	If " フラグ名 "Changes "Hold Off"
ｅメール１～16	Send Email	ｅメール番号 # を送信する。	Then "Email#" to "Send Email"
上記全てのアクション	Cancel Delays	あるシナリオのアクションにディレイが設定されていて、ディレイタイマーが動作している時に CancelDelay が実行されると、ディレイタイマーがキャンセルされ、結果的にそのアクションは起こりません、	Then " デバイス名 " to "Cancel Delays"＊1

＊1：便宜上、出力ポートNo.を定義しますが、Cancel Delaysの動作は出力ポートNo.とは関係がありません。Cancel Delaysは全ての動作中のディレイタイマーをキャンセルします。
＊アクションの種類において、出力ポートに電圧がかかる状態を"On"、オープン状態にすることを"Off"と表現していますが、状況により"On"と"Off"を逆にした方が自然に表現できることがあります。その場合、出力ポートの編集ページにて表示を変更して下さい。但しシナリオの動作につきましては逆転しませんのでご注意下さい。

8.10.4. シナリオ「ディレイ」

●ディレイ詳細
ディレイ使い方には2種類ありそれぞれ動作が異なります。
・"Pulse"に対して "Delay"をかけた場合。
・それ以外に対して "Delay"をかけた場合。

下記のシナリオを例に説明します。
If "無線窓センサ" Changes "On" "-" Then "Buzzer" To "Pulse" pause "Delay 10 秒"
If "無線窓センサ" Changes "On" "-" Then "照明リレー" To "Pulse" pause "Delay 10 秒"
If "Buzzer" Changes "On" "-" Then "Email 1" To "Camera1" pause "Delay 5 秒"
1と2行目は "Pulse" に対して "Delay" を10秒間かけています。
この場合は、無線センサが反応した時に "Buzzer" と "照明リレー" を10秒間Onにします。
3行目は、"Pulse" 以外に対して"Delay" を5秒間かかっています。
この場合は、ブザーが鳴り始めると5 秒後にEmail1がカメラ画像を添付して送信されます。

9・本体の操作

9.1. 本体LEDの説明

ECOLBA正面には、4つのLEDが搭載されています。各LEDの説明は以下の通りです。

⏻ **電源ランプ** → 電源が投入されている場合に点灯します。
N ネットワークランプ → ネットワークに異常がない場合に点灯します。
II LED2 → シナリオ等で自由に使用可能です。
I LED1 → シナリオ等で自由に使用可能です。

9.2. 本体スイッチの説明

ECOLBAには、3つのスイッチが搭載されています。各スイッチの説明は以下の通りです。

・**SELECT**→ 正面 LCDの表示を以下の順で切りかえます。
　コントローラ名（NET BIOS名）-> LAN IP -> WAN IP -> コントローラ日時
・**PSWD** → ログインパスワードを初期値1234にリセットします。（5秒以上の長押し）
・**RESET** → 電源をリセットします。